

# 2020春闘妥結 グループ労組へも波及する成果を獲得

JR  
WEST

西  
労  
組  
UNION  
ニュース

No.7  
(通算)No.543  
2020.4.6

JR西労組ホームページ  
(http://www.jrw-union.gr.jp)

西日本旅客鉄道労働組合

本部/〒530-0012 大阪市北区芝田二丁目一番十八号  
TEL 06-6375-1989  
FAX 06-6375-1988  
JNT 06-6375-1987  
JNR 06-6375-1986  
JR 06-6375-1985  
編集責任者/石上 田村 原 良 五三三(代) 潔成一三

## 【主な妥結内容】

- 労働協約に定める  
**基準昇給の完全実施**(定期昇給分の確保)
- 純ベア800円**  
(社員の職務遂行給、シニア・シニアリーダー基本給に800円を加算)  
※800円にエリア手当の反映分を含むと851円
- 年間臨給5.38ヶ月**  
※支払日は6月30日(夏季手当2.69ヶ月)  
12月10日(年末手当2.69ヶ月)
- 契約社員の時間給5円引き上げ**  
(800円/月相当)
- 初任給調整手当を加算**(2020年度4月1日入社の新入社員に3,000円、2019年度入社に1,000円)
- 特定診断利用支援金の拡充及び増額**(対象項目に風疹・麻疹を追加。男性を3万円に増額。申請回数2回に増)
- 保育所等利用支援金の支給拡大**  
(対象施設・対象者の見直し)
- 動物遺骸処置等給付金が1頭(1個)単位での支払いに拡大**  
※作業を行う際の衛生面の改善・教育の実施を口頭で確認
- 【口頭表明】
- 運転無事故表彰を発展的に見直し、全系統・全社員が表彰される制度への改訂に向けた検討に着手!**

## 組合員の労苦に応え、7年連続のベア獲得!

今年度は、ゴールデンウィーク10連休や西日本豪雨災害・大阪北部地震の災害反動の影響や、JR西労組組合員の奮闘により、第3四半期決算までは「過去最高」の営業収益をつくりあげることができた。一方で、2020年2月から新型コロナウイルス感染症拡大による大幅な減収が続き、第4四半期決算においては、対前年を大きく下回る収入状況となり、非常に厳しい経営状況に直面した。そのような「今後予測が出来ない状況」である中、この1年間を奮闘してきた組合員への成果配分と2019春闘時の会社回答「成果に基づく安定的な還元を社員にも行っていくことが、社員の働きがい向上や生活の安定に繋がる」ことを強く会社に訴え、7年連続ベアスアッパーをはじめ、年間臨給5・38ヶ月など多くの成果を勝ち取ることができた。この間の中央本部闘争委員会へのご支援に感謝申し上げます。

## 2020春季生活闘争妥結にあたっての中央闘争委員会見解

JR西労組中央闘争委員会は、本日2020春季生活闘争の最終交渉に臨み、基準昇給の実施に加え、純ベア800円、年間臨給5.38ヶ月分、初任給調整の加算、特定診断利用支援金の拡充及び増額、保育所利用支援金の支給拡大、動物遺骸処置等給付金を1頭単位での給付及び作業を行う際の環境改善、運転無事故表彰を発展的に見直すことを確認し、席上妥結した。

2020春季生活闘争は、一昨年来の米中貿易摩擦に加え、新型コロナウイルスの感染も拡大しており、景気の先行きに不透明感が漂う中、JR西労組は連合・JR連合方針に基づき、月例賃金総額6,000円以上の引き上げ、純ベア3,000円、年間臨給5.7ヶ月を中心とする要求を提出し、精力的な交渉を積み重ねてきた。JR西日本の経営状況は昨年の台風19号を受けつつも、ゴールデンウィーク10連休やインバウンド需要の増加、西日本豪雨災害・大阪北部地震による災害反動の影響により、第3四半期決算までは連結・単体ともに過去最高の売上高・営業利益が見込まれる中で組合員の期待が高まる闘いとなった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により、1月下旬以降の日本国内の経済活動に大きな影響が出始め、JR西日本の3月第1週の運輸輸入が前年比50%を割り込む等、これまで経験したことのない全く先行きが見えない状況であったが、2019春闘時に労使で確認した「成果に基づく安定的な還元」を行うことこそが、組合員の生活改善及び労働意欲の向上につながり、コロナウイルスの感染リスクがある中、現場で奮闘している組合員の労苦に報いることであると強く訴え、7年連続のベアスアッパー獲得に最後までこだわった交渉を行ってきた。

こうした私たちの強い主張に対して、会社は「新型コロナウイルスの影響でご利用が相当に落ち込み、組合員の皆さんが一体となって尽力していただいていることに感謝を申し上げる。全社一丸となって、安全・安定輸送の提供とCSの向上に取り組み、現在の新型コロナウイルスによるご利用の大幅減という危機を乗り越えつつ、中期経営計画の目標達成に向け、より一層の努力と考案が必要である。労使間で中長期的な視点に基づく建設的議論を前提に、人財確保や生産性向上などの課題に対して互いに協力して取り組み、成果を作り出していくべきと考えており、その成果に基づき、社員の皆さんに安定的な還元を行っていくことが、社員の働きがい向上や生活の安定につながるという考えは変わるものではない。労使一体となって困難を乗り越えていきたい」との最終回答を示した。

現下の見通しが厳しい状況において、労使で生み出した成果に基づく安定的な還元を引き出し、7年連続ベアにより6,250円の純ベアを積み上げ、年間臨給5.38ヶ月を確保したことは、組合員の働きがい向上に資する大きな成果であると言える。今春季生活闘争も徹布行動などへの積極的な参画により、中央闘争委員会を精力的に支えていただいたすべての組合員と家族の皆様にご心より感謝申し上げます。

今後、両バス地本、JR広島病院支部、宮島フェリー支部、JR西日本連合に結集する労組の交渉が本格化する。この成果を活かして相乗効果が発揮されるよう最大限支援していく。

最後に、今後も「安全」を基礎に、JR西日本グループの健全な発展を通じて私たちの地位の向上へ邁進していくこと、新型コロナウイルス感染拡大の「不確かで先行きが不透明な状況」においても組合員の雇用と幸せをJR西労組組合員全員で守り抜く決意を明らかにし、2020春季生活闘争妥結にあたっての中央闘争委員会の見解とする。

2020年3月11日

西日本旅客鉄道労働組合(JR西労組)  
2020春季生活闘争中央闘争委員会

## 春闘結果の解説

### 基本給について

#### 1. 社員

- (1) 基準昇給  
基準昇給額表に基づき実施する。
- (2) ベアスアッパー・・・851円(エリア手当の反映分を含む。)  
職務遂行給に一律800円の加算を行う。  
なお、現行の職務遂行給基準昇給額表における職務遂行給下限額、上限額及び初任給額表に定める初任給額に一律800円の加算を行う等の必要な見直しを行う。

#### 2. シニア社員等

- (1) シニア基本給の見直し  
シニア基本給に800円の加算を行う。  
ただし、「年間所定労働日数がフルタイムより少ない場合」又は「1日平均労働時間がフルタイムより短い場合」は、シニア基本給に480円の加算を行う。

#### (2) 実施時期

2020年4月1日以降、新たに開始となる勤務から適用する。

#### 3. 契約社員

- (1) 基本賃金(時間額)の見直し  
現在適用している内容の基本賃金(時間額)に、5円を加算した金額とする。
- (2) 実施時期  
2020年4月1日以降、新たに開始となる勤務から適用する。

### 【解説】

ベアスアッパー平均851円の内訳は、職務遂行給への一律加算800円とエリア手当反映分(約6.4%)の平均額51円であり、合わせて851円となる。

ベアスアッパーに伴い、現行の職務遂行給基準昇給額表における職務遂行給下限額、上限額及び初任給額表に定める初任給額に一律800円の加算を行う等の必要な見直しを実施される。

なお、職務遂行給への一律加算額は、例年、基準昇給や評価昇給と同時に6月期給与において精算されている。今年も6月期給与(6月25日)において、4月分～6月分の基本給等が精算される予定である。

また、シニア・シニアリーダー社員は、800円をシニア基本給に加算し、契約社員においても、時給5円を加算した金額(月額平均約800円)となる。

●ベアスアッパー